

「第1回地域医療連携セミナー」を開催しました

地域医療連携センター センター長 さいとう よし 齊藤 洋司

当センターでは、「地域包括ケアシステムを知る」と題して、平成27年12月17日(木)に第1回地域医療連携セミナーを院内・外から74名の参加を得て開催いたしました。

「これからの保健・医療・介護について」の演題で島根県健康福祉部医療政策課の杉谷医療専門員から、また、「医療と介護の連携に向けた出雲圏域の取組」の演題で出雲市健康福祉部健康増進課の染谷課長から講演をいただきました。地域の実情に応じて、可能な限り住み慣れた地域で、自分らしい生活を最後まで続けることができるよう、医療・介護・介護予防・住まい・日常生活の支援が一体的に提供され、人と人、人と機関をつなぐことが必要であることが強調されました。講演後の自由討議では活発な意見交換が行われました。



なお、第2回は平成28年3月2日(火)に「まめネット」をテーマに開催する予定です。

引き続きご参加の程よろしくお願いたします。

島根大学医学部における研修会・講演会・セミナー開催情報

2月15日～3月14日

対象者: **一般** 一般市民 **医療** 医療関係者 **本学** 本学教職員・学生

開催日	時間	開催名	場所(★印 学外開催)	対象者
2/15(月)	9:30～11:30	平成27年度 島根県がんビ7アサ [®] -タ-相談会	外来・中央診療棟3階カワアリスルームだんだん	一般
2/16(火)	18:00～19:00	やさしいモニター心電図	外来・中央診療棟2階カニカスティア [®] センター	医療 本学
2/18(木)	19:00～20:30	呼吸器・化学療法内科 患者さんと家族のためのセミナー「抗がん剤治療」	外来・中央診療棟3階カワアリスルームだんだん	一般
2/19(金)	18:00～	第99回病態生化学セミナー 2型糖尿病治療薬外制ミンの腫瘍微小環境に与える影響-エネキ [®] -代謝制御による癌免疫治療の可能性-	医学部 講義棟 1階国際交流ラウンジ	医療 本学
2/22(月)	18:00～19:00	初歩からの12誘導心電図	外来・中央診療棟2階カニカスティア [®] センター	医療 本学
3/2(水)	13:30～14:30	市民公開講座 健康な次世代を創るために「第1回ヒトはいつからヒトになるのだろうか?」	医学部 講義棟 1階国際交流ラウンジ	一般
3/3(木)	18:30～20:00	第2回臨床検査セミナー	外来・中央診療棟3階カワアリスルームだんだん	医療 本学
3/7(月)	15:00～16:00	誰でも参加できる糖尿病教室「知って得する薬に関する豆知識」「糖尿病患者さんのための、がん対策」	外来・中央診療棟3階カワアリスルームだんだん	一般 医療
3/9(水)	13:30～14:30	市民公開講座 健康な次世代を創るために「第2回 先天異常って何?」	医学部 講義棟 1階国際交流ラウンジ	一般

詳細については、医学部・附属病院ホームページ【研修会・講演会・セミナー】をご覧ください。



NEWS



CONTENTS

- ・再生医療センターを開設しました
- ・「Acute Care Surgery」
～外科学、救急医学、集中治療医学が融合した新たな一領域～
- ・「第1回地域医療連携セミナー」を開催しました
- ・島根大学医学部における
研修会・講演会・セミナー開催情報

再生医療センターを開設しました

再生医療センター センター長 すずみや じゅんじ
鈴宮 淳司

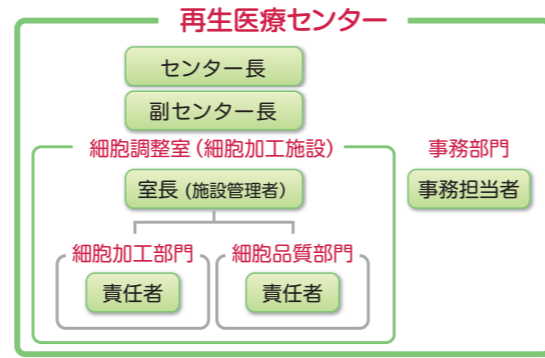
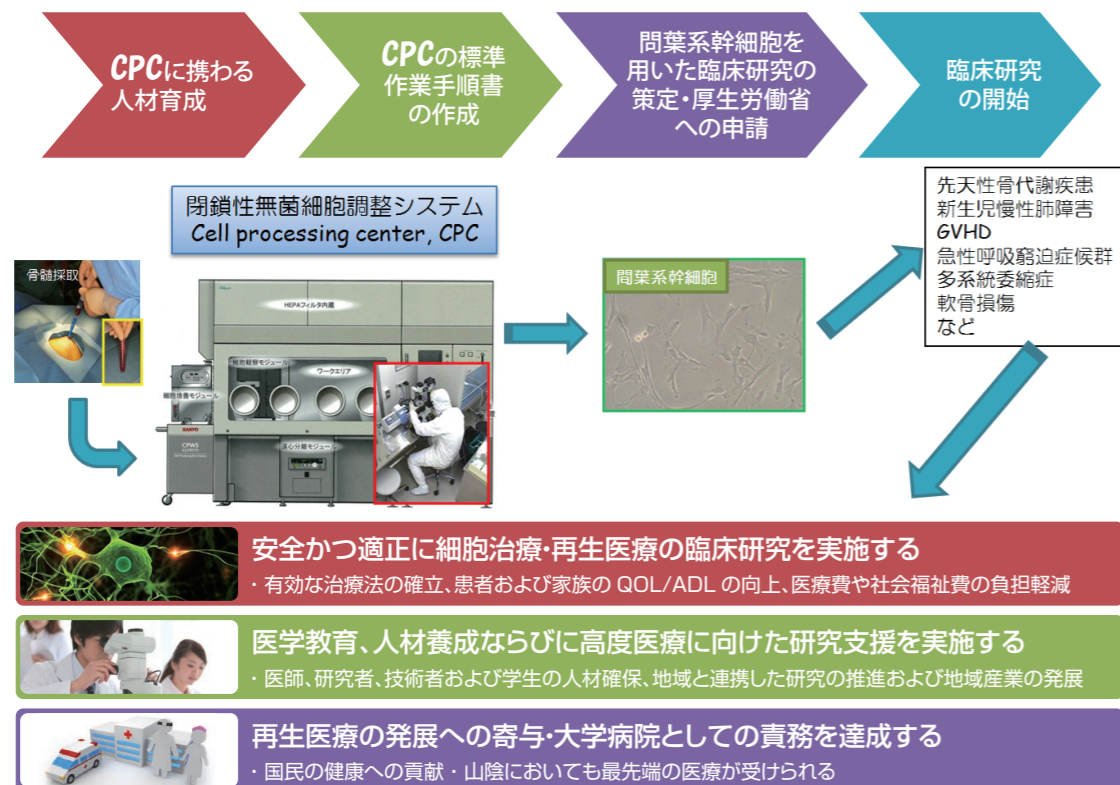
再生医療は、患者さんの体外で人工的に培養した幹細胞等を、患者さんの体内に移植等することで、損傷した臓器や組織を再生し、失われた人体機能を回復させる医療です。

広範な重症熱傷に対するヒト(自己)表皮由来細胞シート、膝関節における外傷性軟骨欠損症又は離断性骨軟骨炎に対するヒト(自己)軟骨由来組織、重症心不全に対するヒト(自己)骨格筋由来細胞シート、造血幹細胞移植後の急性移植片対宿主病(GVHD)に対するヒト(同種)骨髄由来間葉系幹細胞移植が保険承認されています。また、iPS細胞をもちいた再生医療の臨床研究がすでに開始されています。

本学でも基礎研究だけでなく、整形外科では、治療が困難とされてきた関節軟骨損傷に対し、1996年からコラーゲンゲル包埋培養自家軟骨細胞移植を実施し良好な治療成績を得ています。小児科では、先天代謝異常症である骨形成が不良な低ホスファターゼ症に対して間葉系幹細胞と造血幹細胞の移植治療を世界で唯一実施しています。腫瘍生物学講座では、間葉系幹細胞を高純度で精製する方法を確立しています。

本学では、さらに細胞治療・再生医療を発展させるために、2016年1月1日付で再生医療センターを開設しました。再生医療等の安全性の確保に関する法律(再生医療法)に準じて厚生労働省に許可された臨床研究を遂行していくことにより、山陰においても世界の先進の医療を受けられるように努めてまいります。

再生医療センターが目指すもの



センター長:鈴宮淳司(腫瘍センター/腫瘍・血液内科・教授)
副センター長:内尾祐司(整形外科・教授)
細胞調整室長:竹谷 健(輸血部/小児科・講師)
細胞加工部門責任者:松崎有未(腫瘍生物学・教授)
細胞品質部門責任者:三島清司(検査部・技師長)



「Acute Care Surgery」

～外科学、救急医学、集中治療医学が融合した新たな一領域～



医学部Acute Care Surgery講座 教授 わたなべ ひろあき
渡部 広明

当学部では重症外傷の診療、研究、教育を行うことを目的に、本年1月、本邦初となる「Acute Care Surgery 講座」が新設され、同講座を担当させていただくため1月1日付けで着任いたしました。大学を離れてから14年ぶりの大学病院勤務となりましたが、若い先生方が多くて活気のある病院だなと感じております。

さて、Acute Care Surgeryという領域は、まだ聞きなじみのない領域かと思いますが、欧米において新たに確立した一領域であります。2005年に米国外傷外科学会が「重症体幹部外傷」、「救急外科」、「外科的集中治療」の3つを柱とした外科の一領域として提唱しました。日本においても2009年にAcute Care Surgery研究会が発足し、2013年1月には日本Acute Care Surgery学会へと発展したところであり、今後日本においてますます発展していく一領域と考えられています。この新しい領域であるAcute Care Surgeryに対して、全国に先駆けて講座を設立するという先進的取り組みには、全国が注目しているところであり、まさに日本におけるモデルケースといえます。

さて、このAcute Care Surgeryが担当する領域ですが、上述のごとく大きく3つの領域を担当しております(図1)。

図1

Acute care surgeryの診療領域



一つ目の「外傷外科(重症体幹部外傷)」ですが、これは交通外傷などの高エネルギー事故により発生した重症外傷患者さんの手術的治療を主な役割としております。外傷外科とは表記されていますが、の中には手術を要しない重症外傷患者さんの全身管理や保存的加療も含まれております。こうした重症外傷治療に対しては、本年4月より「高度外傷センター」を院内に設置し、重篤な外傷患者さんを広く受け入れることのできる体制を整備中であります。特に胸部腹部における手術や血管内治療適応例に対して、迅速に生命を確保するための治療を開始できる体制を目指しております。来年度春には日本の大学病院で初となる「ハイブリッド初療室(ハイブリッドER)」を配備した高度外傷センター棟も建設され、その機能は著しく向上いたします。

2つ目の「救急外科」は、いわゆる急性腹症症例から軟部組織感染症によるガス壊疽など緊急で手術対応を要する外科的疾患をその領域としております。急性腹症においては急性虫垂炎から重症敗血症を伴う腹膜炎まで幅広く対応していきたいと考えています。4月からは症例の軽重にかかわらず手術が必要と考えられる急性腹症などの外科症例に対しては消化器総合外科と協力して24時間対応しておりますので是非ともご紹介いただければと思います。

3つ目の「外科的集中治療」では重篤な外傷手術例や救急外科症例のうち集中治療管理を要するものに対して適切な全身管理を行っております。

以上の3つの領域の疾患を受け入れ臨床実践するとともに、研究、教育にも力を注いでいき、日本におけるAcute Care Surgeryの中心的役割を担う施設を目指して尽力していきたいと考えております。本年4月の「高度外傷センター」設立以降、積極的に患者さんの受け入れを行っていきたくと考えております。皆様、何卒よろしくご厚意申し上げます。



島大病院ニュース
2016年2月

お知らせ

第9回島大総合医セミナー

飯塚病院 総合診療科

清田雅智先生を招いて

この度、第9回島大総合医セミナーを開催致します。前回に引き続き、飯塚病院 総合診療科 清田雅智先生をお招きしてレクチャーと症例検討を行ないます。多数のご参加と活発な討論をお願い致します。

参加費
無料

事前申し込みは
不要です。

平成28年

2月27日(土)

16:30~19:30

於:ギャラクシー(みらい棟 4F)

1. レクチャー

『不明熱』

90分

2. 症例検討

90分

※ 2月27日のセミナーは島根県医師会指定の生涯教育講座 **3** 単位 です。

2月28日(日) 9:00~12:00

・ER実地研修

今回も当院ERに於いてwalk in patientを対象とする実地診療指導を行ないます。要領は27日のセミナー時に説明します。

本セミナーは、文部科学省「未来医療研究人材養成拠点形成事業“リサーチマインドを持った総合診療医の養成”」の一環として、継続的に開催いたします。島根における総合診療・救急医療のさらなる発展を目指して皆様のご意見、ご提案をお寄せください。

主催:島根大学医学部附属病院 / 島根大学医学部医師会

問合せ先 (当番世話人):呼吸器・化学療法内科 粟屋幸一 TEL:0853-23-2111(代) 内線:2580

お知らせ
島大病院ニュース

平成28年2月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL:0853-20-2068 FAX:0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース
2016年2月

お知らせ

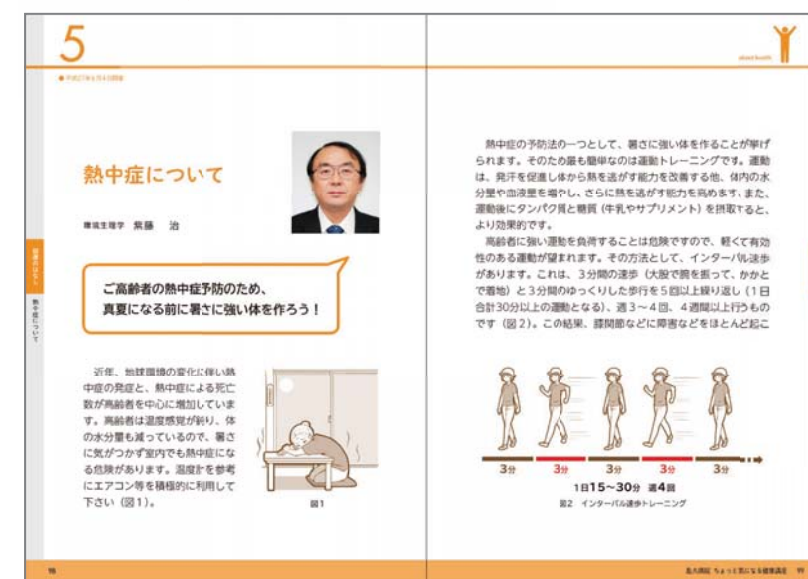
島大病院

ちょっと気になる健康講座 第2版を出版します!

平成25年11月から毎週1回のペースで、「島大病院 ちょっと気になる健康講座」を外来棟1階ロビーで開き、一般的な病気、療養の注意点と工夫、高度な治療法などをわかりやすく説明しています。この健康講座が毎回好評を博していることから、約1年分の講座内容を1冊の本にまとめた第1版を平成27年3月末に出版しております。

この度、さらに約1年分の講座内容をまとめた第2版を、平成28年2月末に出版することになりました。この本では各領域の専門家が、「病気のはなし」「健康のはなし」「病院施設のはなし」の3つの内容について、簡潔にポイントを解説しています。今後も1年に1回のペースでシリーズ本として出版していく計画です。この書籍の出版が、皆様の病気の理解や健康の維持に役立つこと、そして地域医療機関を始めとする皆様に、当院の取り組みを広く知っていただく機会となることを期待しています。

わかりやすく解説しています!



ちょっと気になる
病気・健康・病院施設のはなし

- ・あなたのほころは大丈夫?
- ・知って得する肝臓の検査の話
- ・貧血と言われたら
- ・熱中症について
- ・肝臓とコーヒーについて
- ・簡単アレンジレシピ
- ・医療における放射線被ばくについて
- ・病院内市民ギャラリーについて

…等 48項目

申込・問合せ先 総務課企画調査係 TEL:0853-20-2019

お知らせ
島大病院ニュース

平成28年2月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL:0853-20-2068 FAX:0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース
2016年2月

お知らせ

好評の病院レシピを公開します!

無料配布
3月予定

栄養治療室 室長 ひらい じゅんこ
平井 順子

この度、「病院食のレシピが知りたい」と入院患者さんから声をいただき、実際に病院食として患者さんに提供しているメニューを紹介させていただくこととなりました。

現在、患者さんの病気の回復を目標とし、ライフステージ、病態や食べやすさに応じた適切な食事を提供するため献立を作成しています。また、入院中にも季節感を感じていただけるように年25回の行事食を取り入れ、地域の食文化・食習慣も大切に料理を提供し食事の楽しさも感じていただく取り組みを行っています。

今回紹介するメニューは、季節を問わず作ることができ、病院内でもおいしいと好評いただいたものを選び、主食、主菜、副菜合わせて14種類。みなさんがいつも使っている材料で簡単に作ることができます。それぞれの献立のポイントや栄養の話を紹介しています。なんととっても「おいしい」、そんな献立ですので、病院食のおいしさを味わってみてください。

食べることは、生きることの基本です。

みなさんに毎日の食事に興味をもっていただき、治療中でもおいしく味わい、食事を楽しく食べることができお手伝いをしていきたいと思えます。



もくじ

1. はじめに
2. 食事のバランスってなに?
3. 料理一覧

豚玉丼
鮭寿司
ドライカレー
スパニッシュオムレツ
鶏肉のピカタ
赤魚のマリネ
タラのマスタードソース
カレー煮
鶏肉の塩だれかけ
鮭のちゃんちゃん焼き
マセドアンサラダ
ひじきの和え物
元気サラダ
チヂミ風たまご焼き

問合せ先 栄養治療室 TEL:0853-20-2074



平成28年2月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>



島大病院ニュース
2016年2月

お知らせ



病院内「市民ギャラリー」に 池平 徹兵 氏 ワークショップ壁画 『希望 Hope』を特別展示しています

平成 27 年 8 月から開設している当院市民ギャラリーに、本学の卒業生であり、世界で活躍されている池平 徹兵 氏による壁画の特別展示を、平成 28 年 1 月から行っています。展示初日には池平氏にお越しいただき、作品紹介等の記者発表を行いました。

この作品は、一般財団法人アーツアライブ主催の「平成 25 年度経済産業省地域ヘルスケア構築推進補助業務」の一貫として、国立長寿医療研究センターにて、池平氏と 27 名の高齢者の方が制作されたものです。長さ 10m に及ぶ壁画となっています。

池平氏は「絵を習ったことがない 27 名の高齢者の方が、制作を進めるうちに明るくなり、全力で取り組んだことで、想像もしていなかったような良い作品ができた。作品に『希望』を感じた。」とおっしゃっています。

作品は平成 28 年 3 月末まで展示されます。当院にお越しの際にはぜひ、当院市民ギャラリーにお立ち寄りいただき、実際の作品をご覧ください。

なお、池平氏のプロフィールや作品等につきましては、下記アドレスもご参照ください。

<http://teppeikehila.com/>



作品紹介の記者発表
池平 氏(左) 井川 病院長(右)

問合せ先 総務課企画調査係 TEL: 0853-20-2019



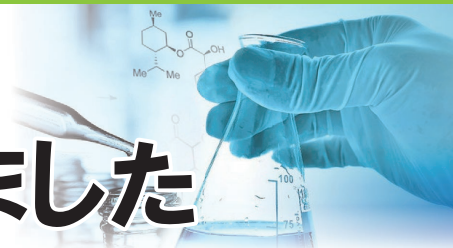
平成28年2月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>





島大病院ニュース
2016年2月

お知らせ



共用基準範囲を採用しました

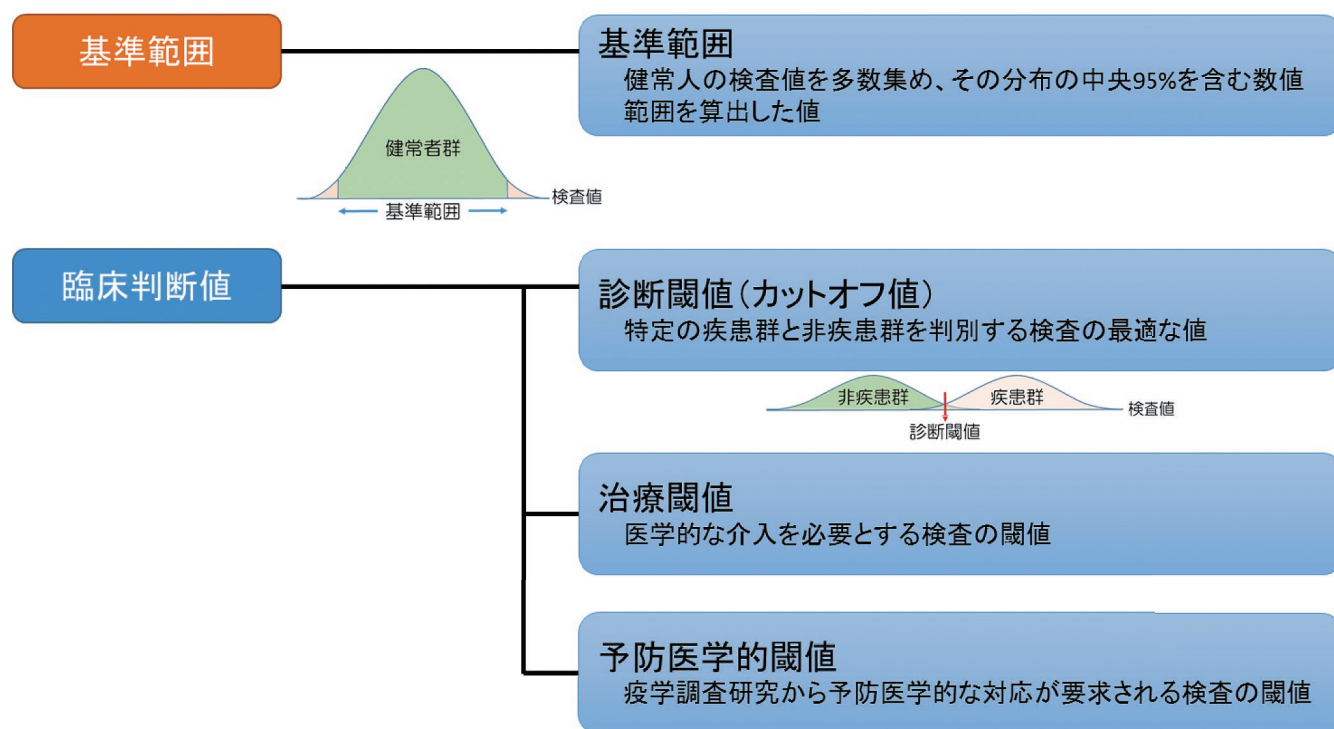
検査部 臨床検査技師長 みしま せいじ
三島 清司

現在、臨床検査値の「基準範囲」については施設毎に異なる値が採用されています。しかし、医療の地域連携システムの構築とマイナンバー制度の導入に伴う「国民の健診検査データの活用」など、医療機関における検査データの統一が求められることが考えられ、これらの臨床検査情報を正確かつ有効に利用するためには、その統一の判断基準が必要であり基準範囲の共用化が望まれています。

そこで、JCCLS(日本臨床検査標準協議会)は2014年に全国共通の基準範囲(共用基準範囲)を設定し、全国的な普及に取り組んでいます。当院においても平成28年1月18日より共用基準範囲を採用しました。

基準値には、基準範囲(健常者の測定値の分布幅)と臨床判断値(臨床的に診断、治療、予後の判断を下す閾値)があります。基準範囲と臨床判断値は概念や算出方法がまったく異なり、同じ検査項目に関しても、両者の上限値・下限値は異なることがほとんどです。

共用基準範囲の詳細はJCCLSホームページ(<http://www.jccls.org/techreport/05.html>)でご覧になれます。



問合せ先 検査部 TEL:0853-20-2415



平成28年2月発行
編集・発行 島根大学医学部附属病院「病院ニュース」編集委員会
問合せ先 島根大学医学部附属病院 医療サービス課 医療支援(地域医療)担当
TEL: 0853-20-2068 FAX: 0853-20-2063
◆島根大学医学部附属病院 ホームページ <http://www.med.shimane-u.ac.jp/hospital/>

